

# Lie Groups and Representation Theory Seminar at the University of Tokyo

## リー群論・表現論セミナー

- DATE December 22 (Tue), 2009, 16:30–18:00
- PLACE Room 126, Graduate School of Mathematical Sciences
- SPEAKER **Kyo Nishiyama** (西山 亨) (Aoyama Gakuin University)
- TITLE 既約表現の随伴多様体は余次元 1 で連結か？—証明の破綻とその背景
- ABSTRACT 既約 Harish-Chandra  $(g, K)$  加群の原始イデアルの随伴多様体が既約であって、ただ一つの冪零随伴軌道  $O^G$  の閉包になることはよく知られている (Joseph, Borho)。一方、HC 加群の随伴多様体は必ずしも既約でないが、その既約成分は  $O^G$  の  $K$ -等質ラグランジュ部分多様体の閉包になる。それらの既約成分は余次元 1 で連結であることをいくつかの集会で報告したが、その証明には初等的な誤りがあった。セミナーでは、証明の元になった Vogan の定理の紹介 (もちろん間違っていない) と、それを拡張する際になぜ証明が破綻するかについてお話しする。(今のところ証明修復の目処は立っていない。)